

5 音声によるインプットのあり方

Let's give it a try!	解答例
<p>1. 中学年と高学年の単元を1つずつ選び、音声インプットの内容への「気付き」と「理解」を促す活動をそれぞれ考えなさい。</p>	<p><b>【中学年】</b>  『Let's Try! 1』 Unit 6 ALPHABET  アルファベットと仲良し</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「気付き」を促す活動例 「アルファベットを探そう」 <ul style="list-style-type: none"> <li>➤ 『Let's Try!』の誌面や、指導者が独自で作成した小学校周辺の地図を見せ、身の回りの看板や建物等、さまざまな場所でアルファベットの大文字が使われていることや、その読み方に気付かせる。</li> </ul> </li> <li>・「理解」を促す活動例 「ポインティング・ゲーム」 <ul style="list-style-type: none"> <li>➤ 指導者がアルファベットの名称を言い、児童にその文字を指すように指示する。①で用いた教材や、『Let's Try! 1』巻末のアルファベットカードを使用して行う。ペアで協力して(1)誌面の中で指差し、(2)その文字をアルファベットカードの中から取るというように2段階の活動にして、より多感覚に進めることもできる。</li> </ul> </li> </ul> <p><b>【高学年】</b>  『We Can! 1』 What do you have on Monday?</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「気付き」を促す活動例 「いろいろな時間割」 <ul style="list-style-type: none"> <li>➤ 指導者が教室にある時間割を見て、何曜日になどどんな時間割があるかを確認する。その後、世界の学校の時間割についての映像や音声を視聴させ、曜日や教科を表す言葉に気付かせる。ALT が出身国の小学校の時間割を紹介し、児童に聞き取れた言葉や分かったことを発表させるようにしても良い。</li> </ul> </li> <li>・「理解」を促す活動例 「好きな曜日の時間割を尋ね合おう」 <ul style="list-style-type: none"> <li>➤ 『We Can! 1』の誌面の Let's Play や、教室の時間割表を用いて、ペアで、好きな曜日の時間割について尋ね、その曜日を当てさせる。</li> </ul> </li> </ul>
<p>2. &lt; 1 &gt;で述べた4つの条件を用いて、1で提供するインプットの質について</p>	<p><b>【中学年】</b>  ① 理解可能性  ほぼ同じ時期に国語科で訓令式のローマ字を学習</p>

まとめなさい。

することから、アルファベットという文字についてはある程度慣れ親しみがある。ただし、外国語活動・外国語科ではヘボン式を扱うため、国語科での「ローマ字」との違いや目的を理解させて指導することが大切である。

② 関連性

小学校周辺の地図や看板等を扱うことで、児童の日常生活と関連付けることができている。

③ 真正性

授業のためだけに作ったものではなく、日頃から目にしている建物の看板や道路標識など、アルファベットが使用されている現実（本物）の場面が用いられることにより、真正性が増している。

④ 音と文字のインプット

A /ei/と発音するだけでなく、誌面やアルファベットカードに示された文字と対応させることで、音と文字によるインプットをバランス良く提供できるようにする。

【高学年】

① 理解可能性

児童は前単元までに数字や日付の言い方、世界の行事について学んでいるため、数（例 **three classes**）や序数詞（1<sup>st</sup>、2<sup>nd</sup>）、国の名前は理解できる段階にある。教科についても、毎週学んでいる **English** や、日本語でカタカナでも用いられる **music**（ミュージック）など、一部（音声で）認識できる教科名もある。

② 関連性

教室の時間割を用いることで、児童自身（の学校生活）と学習内容との関連性が見出されている。

③ 真正性

世界の小学校の学校生活について知ること、曜日や教科の言い方について現実に結びつく文脈の中で学ぶことができ、真正性が増している。

④ 音と文字のインプット

曜日や教科名のピクチャーカード（イラスト＋文字）やワークシートを用いて、繰り返し言ったり推測

	しながら読んだりする活動を取り入れ、音と文字によるインプットをバランスよく提供できるようにする。
--	--